

県内活動事例お知らせ紹介

<p>お知らせの タイトル</p>	<p><b>最上町広域協定の活動事例を紹介します。(2022. 3)</b></p>
<p>概 要</p>	<p>最上町広域協定の多面的機能支払交付金における地区ごとの活動事例を紹介します。各活動組織の参考になれば幸いです。</p>
<p>内 容</p>	<p><b>※最上町広域協定 活動通信 NO. 6より</b>  <b>「大堀環境保全会」の取組みと活動写真の一部を紹介します。</b></p> <p><b>★活動の経緯</b></p> <p>平成19年の農地・水時代から活動を続けて今年で15年目を迎える保全会です。農業者だけでなく地域住民や自治会、老人クラブと子ども会も参加しています。当初は35名いた農業者も現在は23名まで減少している状況ですが、荒廃農地が発生しないよう保全活動を続けてきました。</p> <p><b>★主な活動内容</b></p> <p><b>○基本の活動</b>  融雪後に用排水路や管理ゲート、農道等の点検を行い、水路の泥上げ・補修、草刈り作業、農道の砂利敷きなどの計画を立て協働で活動します。特に、豪雨時には被災箇所がないか調査して、早期に現状復旧ができるように活動しています。</p> <p><b>○花いっぱい運動</b>  15年間毎年続けている活動です。田植え後に子ども育成会と睦会の協力のもと、約1aの「大堀かだん」と、集落の要所要所に置く花苗プランター作りを行います。サルビア、マリーゴールド、メランポジウム、ペゴニアなどの花々が毎年集落内に彩りを添えています。</p> <p><b>○土側溝をコンクリート水路に直営で工事</b>  10年ほど前から、組織内の建設関係経験者や同年代の有志により、本来、建設会社に外注する水路設置工事を直営で自分たちで行ってきています。今まで5路線、2.1kmの土側溝をコンクリート水路に更新しています。外注するより約2倍の延長ができることから。今後も、直営工事の計画をたて、維持管理がしやすく、大雨時により安心なコンクリート水路を増やしていきます。</p>